

LP-S8160 LP-S7160 LP-S6160

セットアップガイド



(イラストはフルオプション時)

本製品を使える状態にします。以下の手順でセットアップしてください。

- 1 使用上のご注意 ... 2
- 2 セットアップをする前に ... 6
- 3 セットアップ作業の流れ ... 7
- 4 消耗品の取り付け ... 8
- 5 オプションの取り付け ... 13
- 6 電源コードの取り付けと用紙のセット ... 22
- 7 日時設定と動作確認 ... 25
- 8 コンピューターとの接続とインストール ... 27

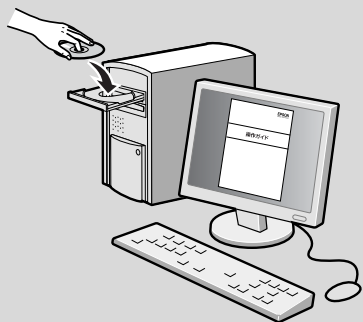
セットアップできないときは ... 28

こんなことができます ... 30

本書は製品の近くに置いてご活用ください。

本書以外のマニュアルのご案内

本書以外は PDF マニュアル（電子）として付属のソフトウェアディスクに収録されています。ご覧いただくには Adobe Reader やプレビュー（Mac OS X）などの PDF 閲覧用ソフトウェアが必要です。



Windows : ディスクをセットし、[電子マニュアルとソフトウェアのご案内] ボタンをクリックしてください。

Mac OS X : ディスクをセットし、デスクトップの [EPSON] アイコン - [マニュアル] フォルダー - [JA] の順にクリックしてください。












ディスクドライブがない環境やディスクを紛失してしまったときは、エプソンのホームページ (<http://www.epson.jp/>) からダウンロードしてください。

1. 使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されておりますマニュアルをお読みください。本製品のマニュアルの内容に反した取り扱いは、故障や事故の原因になります。本製品のマニュアルは、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

記号の意味

本書および製品付属のマニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・取り扱いについて次の記号で警告表示をしています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。
	高温による傷害の可能性を示しています。
	してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	分解禁止を示しています。
	濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	特定の場所に触れることの禁止を示しています。
	製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	アース接続して使用することを示しています。

！重要

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本体が損傷したり、プリンター本体、プリンタードライバーやユーティリティーが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考

補足説明や参考情報を記載しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

設置上のご注意

警告



本製品の通風口を塞がないでください。
通風口を塞ぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。
布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。
また、マニュアルで指示された設置スペースを確保してください。
☞ 6 ページ「設置場所と設置スペース」

注意



不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。
落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。
感電・火災のおそれがあります。

本製品は重いので、1人で運ばないでください。

開梱や移動の際は2人以上で運んでください。
本製品の質量は以下を参照してください。
☞ 『操作ガイド』（電子マニュアル）－「付録」－「製品仕様」

本製品を移動する際は、前後左右に10度以上傾けないでください。
転倒などによる事故のおそれがあります。

⚠ 注意



本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。

無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。

本製品を持ち上げる際は、マニュアルで指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。

他の部分を持って持ち上げると、プリンターが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。

☞ 3 ページ「プリンターの持ち方」

本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。

作業中に台などが思わぬ方向に動く、けがをするおそれがあります。

増設カセットユニット、プリンター台、キャビネットは必ず設置可能な組み合わせで使用してください。

転倒などによる事故のおそれがあります。

オプションに付属の固定金具は取り付け手順を確認の上、必ず取り付けてください。

転倒などによる事故のおそれがあります。

キャビネットや専用プリンター台のキャスターを固定したまま移動させないでください。

転倒などによる事故のおそれがあります。

本製品をキャビネット / 専用プリンター台に装着した状態で移動する場合、段差や凹凸のある場所は避けてください。

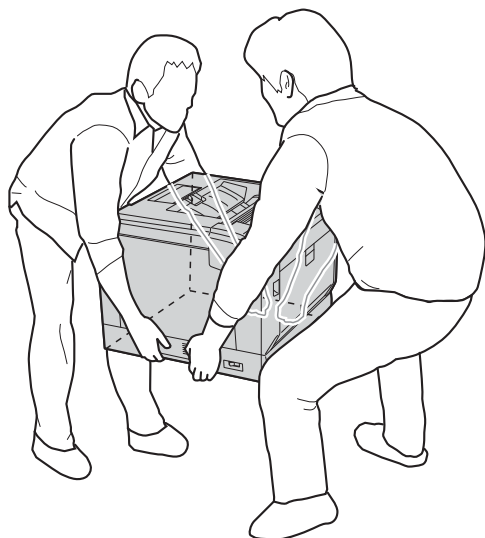
転倒などによる事故のおそれがあります。

本製品の組み立て作業（開梱、セットアップなど）は、梱包材を作業場所の外に片付けてから行ってください。

滑ったり、つまずいたりして、けがをするおそれがあります。

プリンターの持ち方

必ず 2 人で持ち上げてください。前後でプリンターを持ち、イラストを参照して手を掛けて運んでください。



取り扱い上のご注意

⚠ 警告



煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口に相談してください。

お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

本製品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したエアゾール製品を使用しないでください。引火による爆発・火災のおそれがあります。

各種ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。

発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。

開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。

感電・火災のおそれがあります。



マニュアルで指示されていない箇所および部品の分解はしないでください。

プリンター本体の場合は、安全装置が損傷し、レーザー光漏れ・定着ユニットの異常過熱・高圧部での感電など事故のおそれがあります。部品（トナーカートリッジなど）を分解するとトナーこぼれの原因になります。



製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。

感電や火傷のおそれがあります。



異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口に相談してください。



操作パネルのディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。

万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。

- 皮膚に付着したときは、付着物を拭き取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。
- 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。

⚠ 注意



本製品 / キャビネット / プリンター台の上に
乗ったり、重いものを置かないでください。
特に、子どものいる家庭ではご注意ください。倒
れたり壊れたりして、けがをするおそれがありま
す。

電源投入時および印刷中は、排紙ローラー部
に指を近づけないでください。

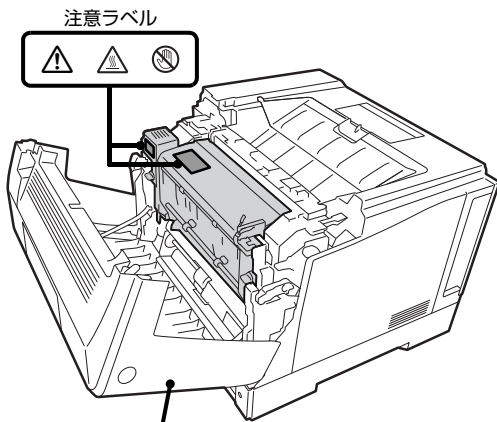
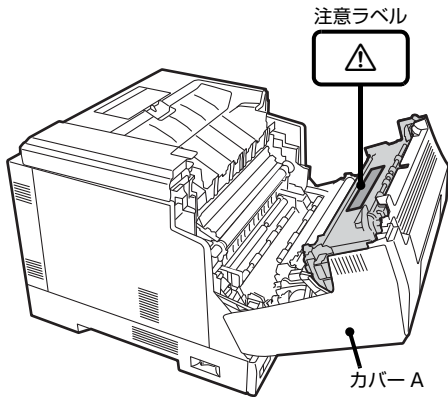
指が排紙ローラーに巻き込まれ、けがをするおそ
れがあります。用紙は、完全に排紙されてから手
に取ってください。

詰まった用紙を取り除く際は、用紙や用紙カ
セットを無理に引き抜かないでください。また、
不安定な姿勢で作業しないでください。
急に用紙や用紙カセットが引き抜けると、勢いで
けがをするおそれがあります。

本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、
立てたり、逆さまにしないでください。
トナーが漏れるおそれがあります。

使用中にプリンターのカバーAを開けたとき
は、注意ラベルで示す定着ユニットに触れな
いください。

内部は高温になっているため、火傷のおそれか
があります。



紙詰まりの状態では放置しないでください。
定着ユニットが過熱し、発煙・発火による火災の
おそれがあります。

⚠ 注意



各種ケーブルやオプションを取り付ける際
は、取り付ける向きや手順を間違えないでく
ださい。

火災やけがのおそれがあります。
マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてく
ださい。

本製品を移動する際は、電源を切り、電源ブ
ラグをコンセントから抜き、全ての配線を外
したことを確認してから行ってください。

コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそ
れがあります。

下記のような条件を避けて使用してくださ
い。

お使いの環境条件によっては、排気臭を不快に感
じることがあります。

- 製品の環境条件外での使用
- 狭い部屋での複数ページプリンターの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働

各カバーの開閉の際は本体とカバーの接合
部（継ぎ目）に手を近づけないでください。
指や手を挟んで、けがをするおそれがあります。

カバー A やカバー G を開閉するときは、手
や指を挟まないように注意してください。
けがをするおそれがあります。

使用時はキャビネットや専用プリンター台の
カスター（車輪）を必ず固定してください。
固定していない場合、事故の原因となります。

電源のご注意

⚠ 警告



AC100V 以外の電源は使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した
状態で使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

付属の電源コード以外は使用しないでくだ
さい。また、付属の電源コードを他の機器に
使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓
口に相談してください。
また、電源コードを破損させないために、以下の
点を守ってください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードに重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりし
ない
- 熱器具の近くに配線しない

⚠ 警告



電源コードのたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側にある補助電源への接続はしないでください。

発熱して火災になるおそれがあります。
家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。

本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。
感電・火災のおそれがあります。

次のような場所にアース線を接続しないでください。

- ・ ガス管（引火や爆発の危険があります）
- ・ 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）
- ・ 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません）



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電のおそれがあります。



電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。

感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。

電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。

コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。



漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。

アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。

- ・ 電源コンセントのアース端子
 - ・ 銅片などを65cm以上地中に埋めた物
 - ・ 接地工事（D種）を行っている接地端子
- アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店に相談してください。

⚠ 注意



長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

消耗品や交換部品のご注意

⚠ 警告



消耗品や交換部品を火の中に入れてください。

トナーが飛び散って発火し、火傷するおそれがあります。

こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。

こぼれたトナーを掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより、内部に吸い込まれたトナーが粉じん発火するおそれがあります。床などにこぼれてしまったトナーは、ほうきで掃除するか中性洗剤を含ませた布などで拭き取ってください。

⚠ 注意



こぼれたトナーを吸引したり、皮膚に触れないようにしてください。

トナーは人体に無害ですが、処理時にはマスクや手袋を着用してください。

印刷用紙の端を手でこすらないでください。

用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをすることがあります。



消耗品や交換部品は子どもの手の届かない場所に保管してください。

取り扱いを誤ってけがをしたり、トナーが漏れるおそれがあります。

トナーが手や服などに付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは、以下の処置をしてください。

- ・ 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
- ・ 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、速やかに医師に相談してください。

消耗品や交換部品を交換するときは、周囲に紙などを敷いてください。

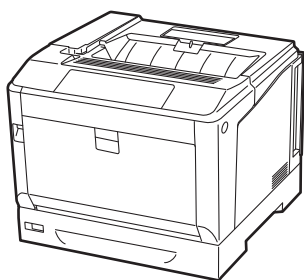
トナーがこぼれて、プリンターの周囲や衣服などに付いて汚れるおそれがあります。

2. セットアップをする前に

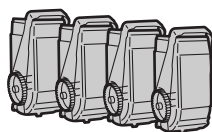
内容物の確認とマニュアルの紹介

以下のものがそろっていること、それぞれに損傷がないことを確認してください(LP-S6160のみ2箱に分かれて入っています)。万一、足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

□プリンター本体



□トナーカートリッジ(4本)



□ソフトウェアディスク

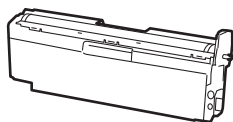


□電源コード

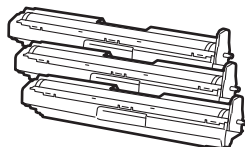


□感光体ユニット(LP-S6160のみ)

モノクロ用(1個)



カラー用(3個)



ソフトウェアディスクには、プリンターソフトウェアやフォントの他に、以下の電子マニュアルも収録されています。電子マニュアルの見方は本書表紙の「本書以外のマニュアルのご案内」で説明しています。

操作ガイド(PDF マニュアル)

使い方の概要、トラブル対処法、ソフトウェアの説明などを掲載しています。

ネットワークガイド(PDF マニュアル)

本機をネットワーク環境で使用するための情報を掲載しています。

EpsonNet Printの使い方(PDF マニュアル)

EpsonNet Print を使用するための情報を掲載しています。EpsonNet Print は、Windows 標準のネットワーク印刷以外で印刷するとき使用するソフトウェアです。

設置場所と設置スペース

次のような場所に設置してください。

- 本機の質量に十分耐えられる、水平で安定した場所
☞『操作ガイド』(電子マニュアル) - 「付録」 - 「製品仕様」
- プリンター底面の脚が確実に載る、プリンターの底面よりも広い場所
- 風通しの良い場所
- プリンターの通風口を塞がない場所
- 専用の電源コンセントが確保できる場所
- 以下の環境条件を満たす場所
☞『操作ガイド』(電子マニュアル) - 「付録」 - 「製品仕様」

！重要

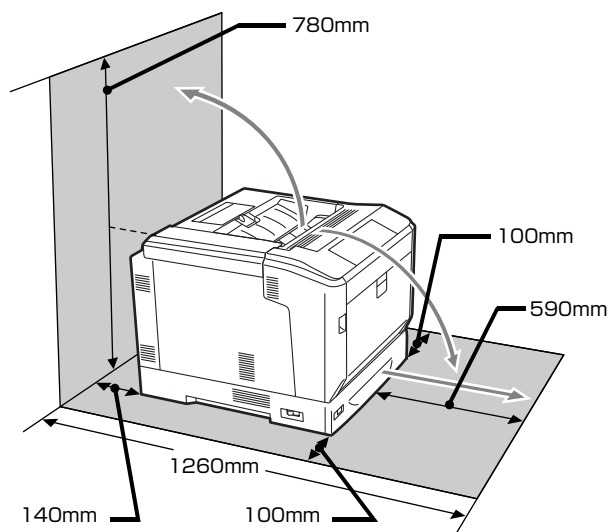
- 以下のような場所には設置しないでください。動作不良や故障の原因となります。

直射日光の当たる場所	湿度変化の激しい場所
温度変化の激しい場所	水に濡れやすい場所
火気のある場所	冷暖房器具に近い場所
揮発性物質のある場所	加湿器に近い場所
震動のある場所	換気の悪い場所
テレビ・ラジオに近い場所	風が直接当たる場所
ホコリや塵の多い場所	
- プリンターの底面より小さい台の上に設置すると、プリンター底面のゴム製の脚が台からはみ出してしまうため、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。

静電気の発生しやすい場所では、市販の静電防止マットなどを使用して静電気の発生を防いでください。

用紙のセットや消耗品の交換などに支障のないよう、以下のスペースを確保してください。

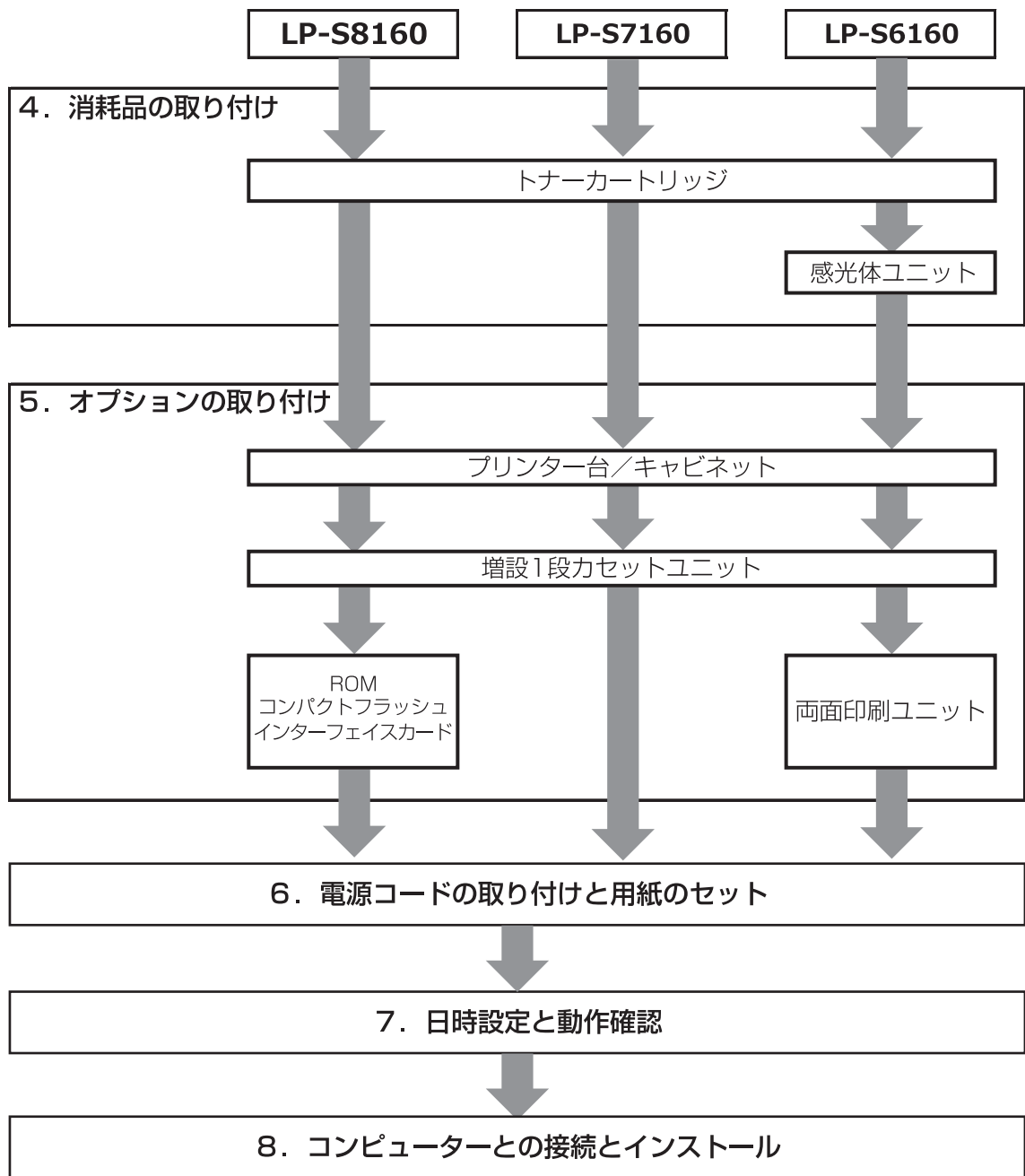
数値は概数です。



3. セットアップ作業の流れ

お買い求めの製品（モデル）によってセットアップ作業が異なります。以下の流れで作業を進めてください。

参考
LP-S8160 や LP-S7160 には、感光体ユニットと両面印刷ユニットがあらかじめ取り付けられています。



4. 消耗品の取り付け

トナーカートリッジ

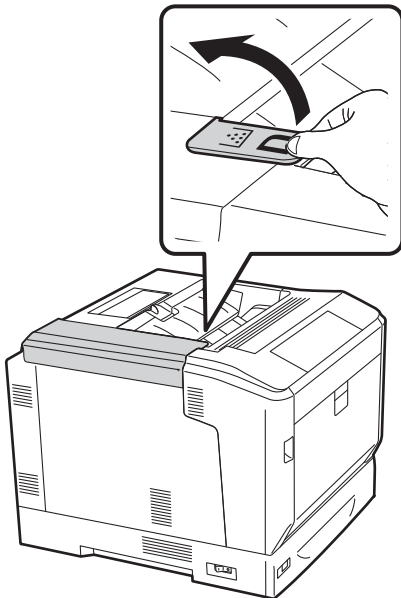
トナーカートリッジは、どの色からセットしてもかまいません。各色共通の作業です。

1 保護材（テープなど）を全て取り外します。

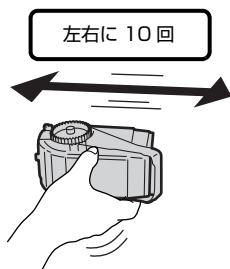
！重要

保護材を取り外さずに電源を入れると、故障の原因になります。

2 カバーDを開けます。

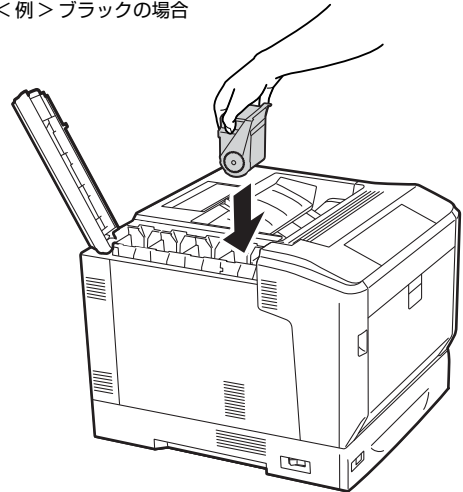


3 トナーカートリッジを振ります。

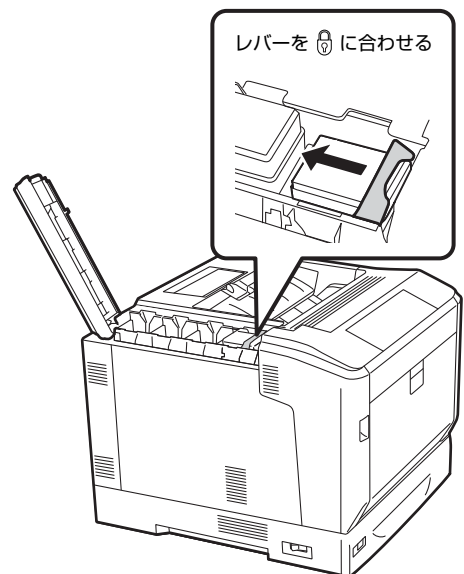


4 トナーカートリッジをセットします。
各色の位置を確認してからセットしてください。

<例> ブラックの場合



5 トナーカートリッジをロックします。



6 3～5を繰り返し、4色全てのトナーカートリッジをセットします。

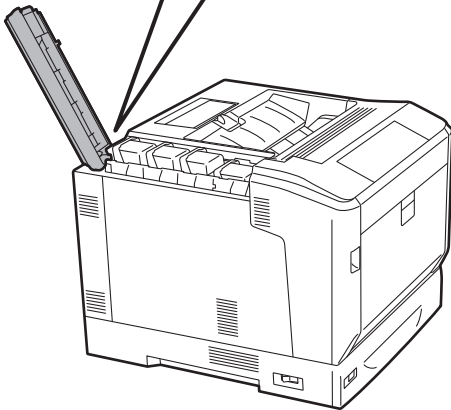
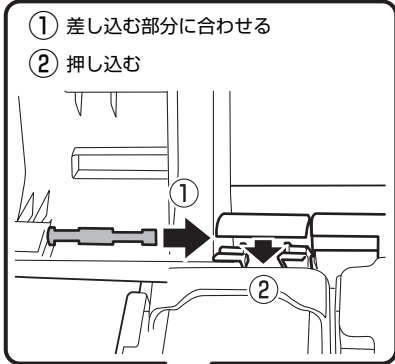
7

カバー D を閉じます。

参考

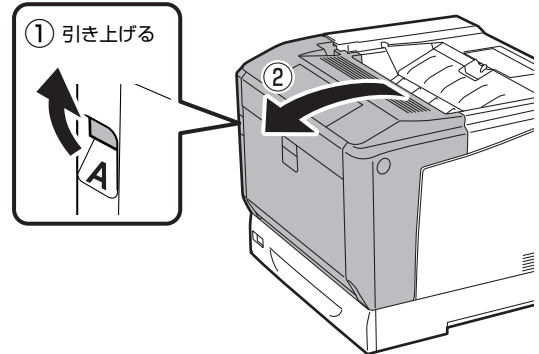
カバー D が外れたときは、以下の手順で取り付けてください。

- ① 差し込む部分に合わせる
- ② 押し込む

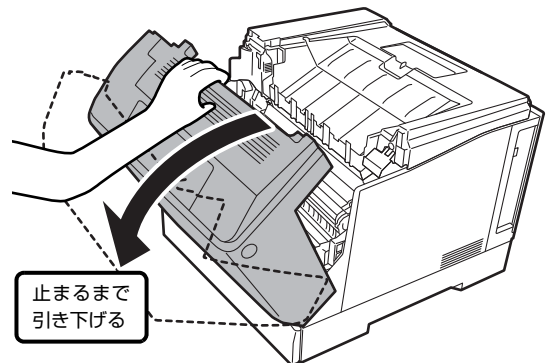
**感光体ユニット(LP-S6160のみ)**

LP-S8160 や LP-S7160 にはあらかじめ取り付けられています。

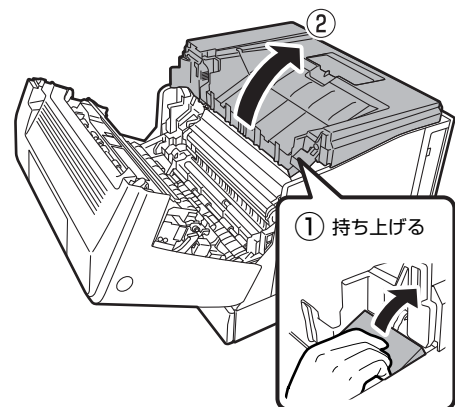
1 カバー A を開けます。



カバーは途中で一旦止まります。さらに開けて、全開にしてください。

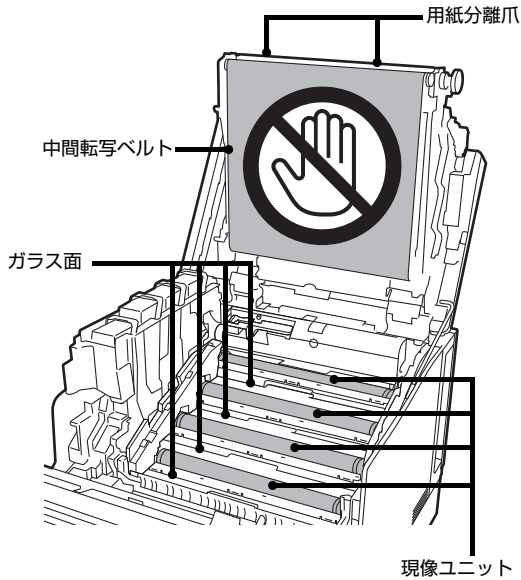


2 カバー G を開けます。



！重要

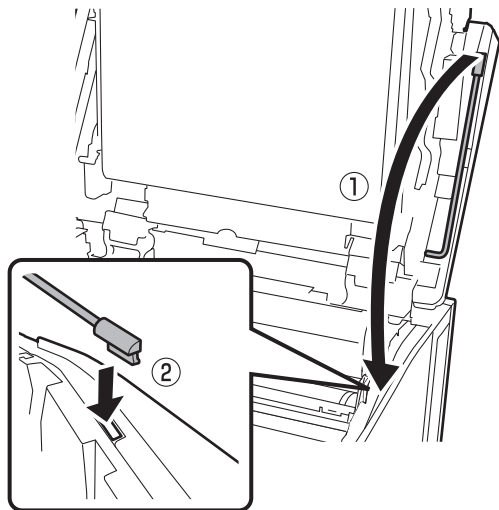
中間転写ベルト、用紙分離爪、現像ユニット、ガラス面には絶対に手を触れないでください。また、物をぶつけたり、こすったりしないでください。手の脂が付いたり傷がつくと印刷品質が低下します。手や衣類の汚れ原因にもなります。



3

支え棒でカバー G を固定します。

カバー G を手で支えながら、支え棒を穴に差し込んでください。

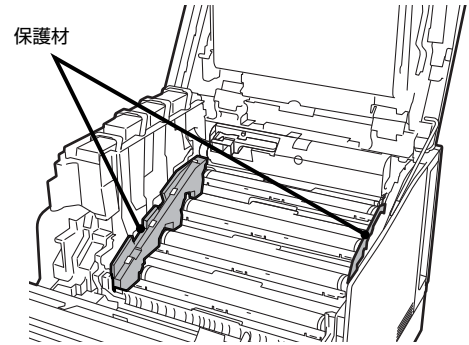


！重要

- 支え棒はゆっくり動かしてください。急に動かすとカバー G が倒れるおそれがあります。
- カバー G は必ず支え棒で固定してください。突然閉まり、指や手を挟んでけがをするおそれがあります。

4

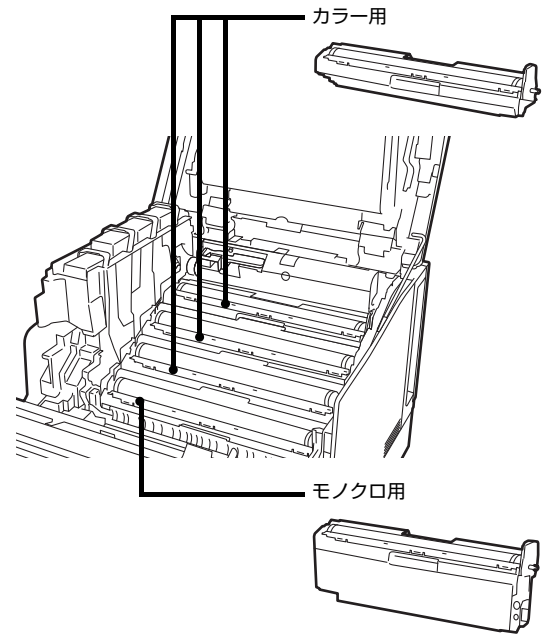
左右の保護材を取り外します。



5

セットする場所を確認します。

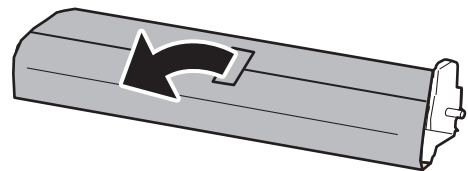
モノクロ用の感光体ユニットは一番手前のソケットにセットします。



6

感光体ユニットの保護紙を外します。

<例> カラー用

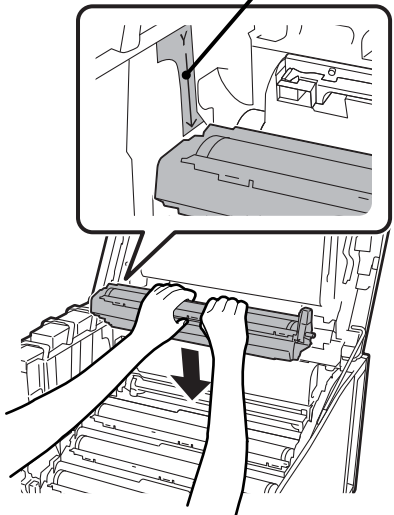


！重要

- 感光体ユニットの感光体（紫色の部分）には絶対に手を触れないでください。また、感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも 3 分以上放置しないでください。強い光や長時間光が当たると、印刷品質が低下します。

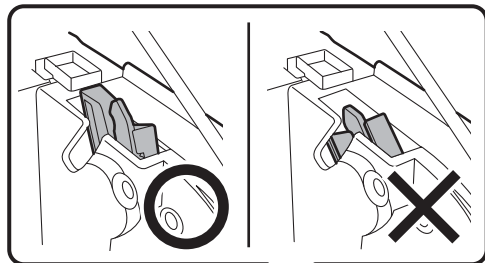
7 感光体ユニットをセットします。

感光体ユニットの突起をこの溝に
合わせ、矢印に沿って入れる

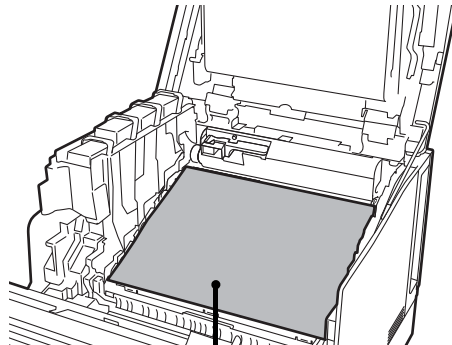


!重要

- 下図の部品が○イラストのようにになっていることを確認してください。×イラストの状態ではセットできません。×イラストの状態になっているときはカバー G を一旦閉めて、作業をやり直してください。



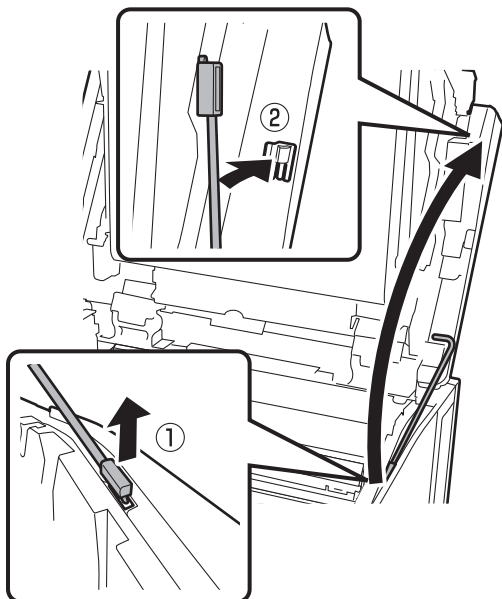
- 感光体ユニットが光に当たることを軽減するため、感光体ユニットから取り外した保護紙を、プリンター内部に置きながら作業を続けてください。



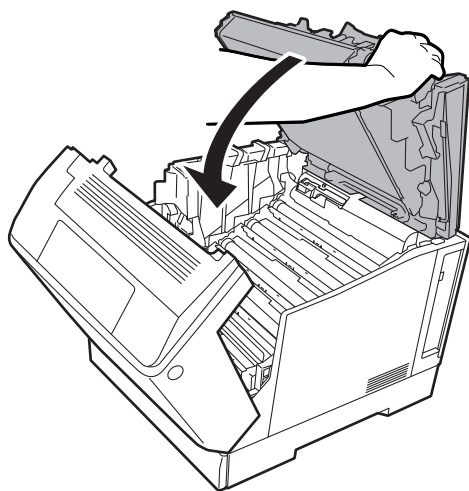
保護紙のテープをはがして置く

8 6～7 を繰り返し、4色全ての感光体ユニットを セットします。

9 支え棒を元の場所に戻します。
カバー G を手で支えながら操作してください。



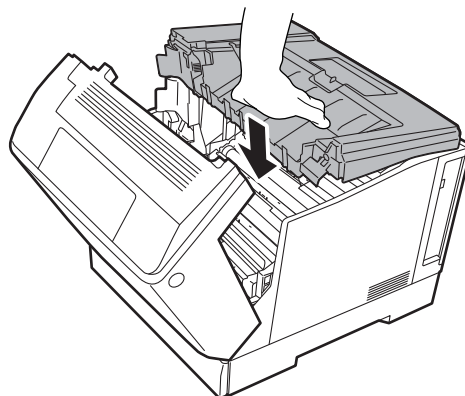
10 カバー G を閉めます。
① G レバーを持ってカバー G を下げる



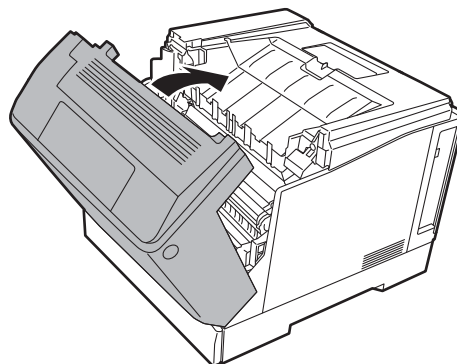
!重要

カバー D を持って閉じると、カバー G が突然閉まり、指や手を挟んでけがをすることがあります。

② 排紙トレイ中央を「カチッ」と音がするまで押し下げる



11 カバー A を閉めます。



5. オプションの取り付け

オプションは取り付け前に損傷のないことを確認してください。万一、足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠ 警告

マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
安全装置が損傷し、レーザー光漏れ、定着ユニットの異常過熱・高圧部での感電など事故のおそれがあります。

⚠ 注意

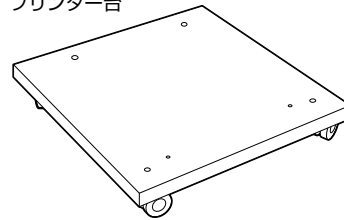
- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品を持ち上げる際は、マニュアルで指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンターが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。
☞ 3ページ「プリンターの持ち方」
- 各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。火災やけがのおそれがあります。マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。

プリンター台 / キャビネット

以下のオプションが取り付けられますが、組み合わせに制限があります。

専用プリンター台 (型番：CSCBN15B)	増設カセットユニットを3段まで増設したプリンターが載せられます。
専用キャビネット (型番：LPCBN8/ LPMPD3)	増設カセットユニットを2段まで増設したプリンターが載せられます。LPMPD3はプリンター台とセットでの使用をお勧めします。キャビネットの取扱説明書に従って作業してください。

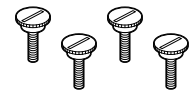
プリンター台



ケーブルフック 1個



ネジ 4本



ガイドピン 2本

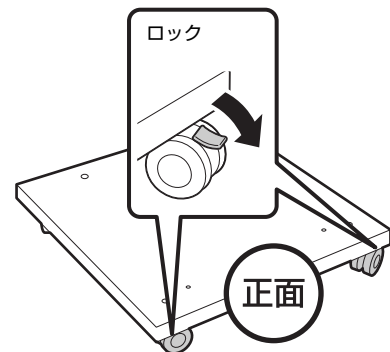


専用プリンター台は、増設 1 段カセットユニットまたはプリンター本体に直接取り付けられます。ここでは、増設 1 段カセットユニット（以降「カセットユニット」）を例に取り付け方を説明しますが、プリンター本体も同様の手順で取り付けできます。

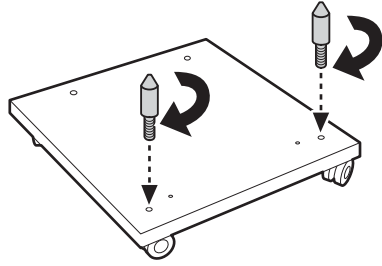
カセットユニットを増設するときは、専用プリンター台の使用をお勧めします。

1 平らな場所に置き、前側のキャスター 2 箇所をロックします。

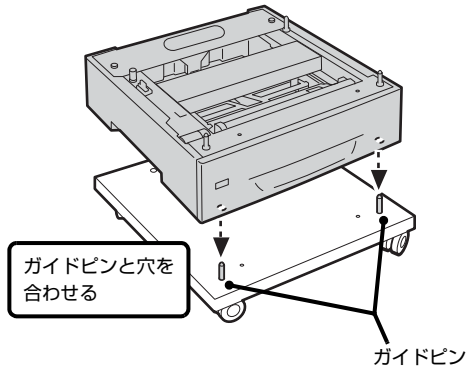
移動時以外はロックして使用してください。



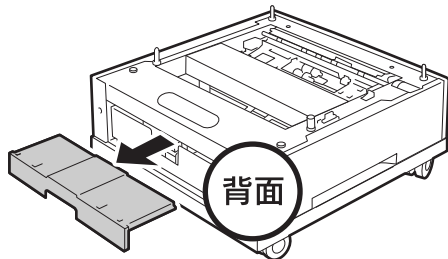
2 ガイドピンを2箇所取り付けます。



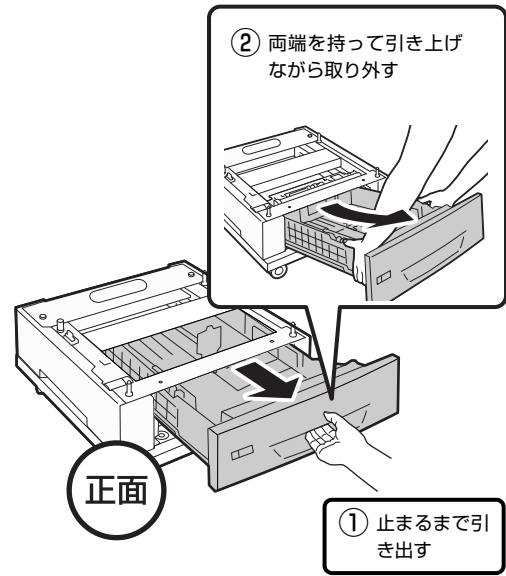
3 カセットユニットを載せます。



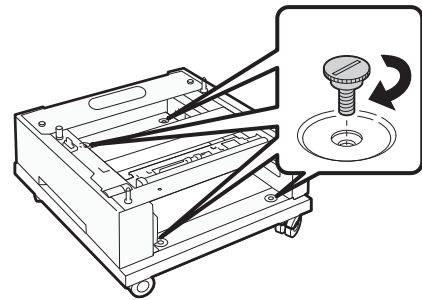
4 カセットユニットの背面カバーを取り外します。



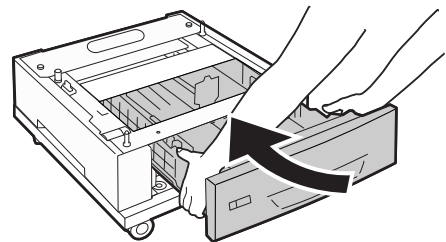
5 用紙カセットを取り外します。



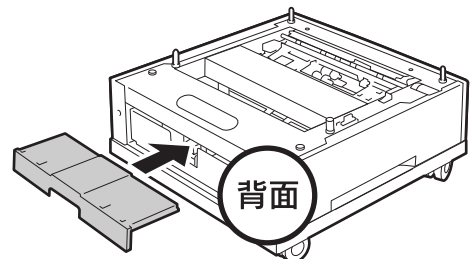
6 付属のネジ（4本）で固定します。



7 用紙カセットをセットします。



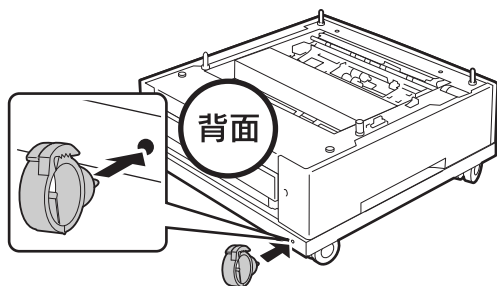
8 背面カバーを取り付けます。



9

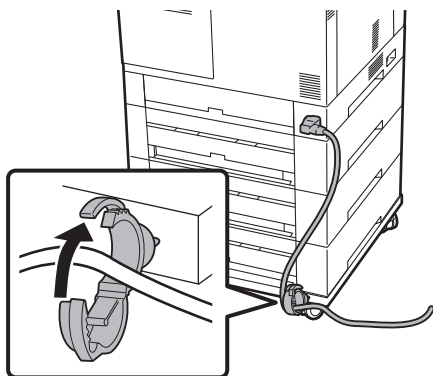
ケーブルフックを取り付けます。

電源コードがキャスターに巻き付いたり抜けたりするのを防止します。



参考

電源コードを電源コネクタに接続した後、ケーブルフックに通します。



10

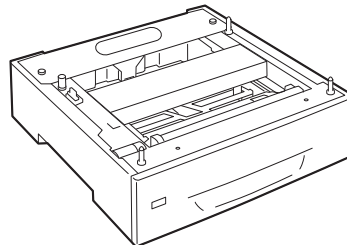
増設するカセットユニットを全て取り付け、最後にプリンターを載せます。

☞ 15 ページ「増設 1 段カセットユニット」

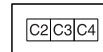
増設 1 段カセットユニット

増設 1 段カセットユニット (型番: LPA3CZ1C12。以降「カセットユニット」) を 3 段まで増設できます。

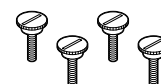
増設 1 段カセットユニット



カセット番号ラベル



ネジ 4 本



カセットユニットを増設する場合は、プリンター台のご使用をお勧めします。

1

専用プリンター台を使用する場合は、あらかじめ最下段になるカセットユニットに取り付けておきます。

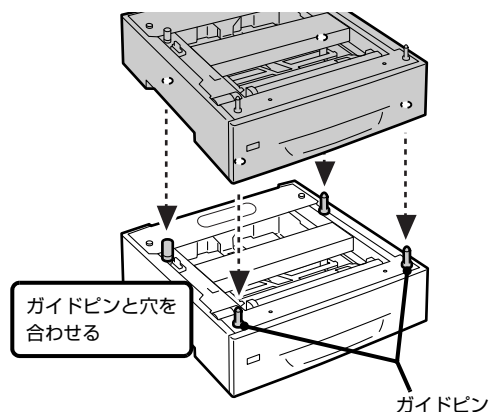
☞ 13 ページ「プリンター台 / キャビネット」

1 段のみ増設する場合は 9 に進みます。

2 段以上増設する場合は 2 に進みます。

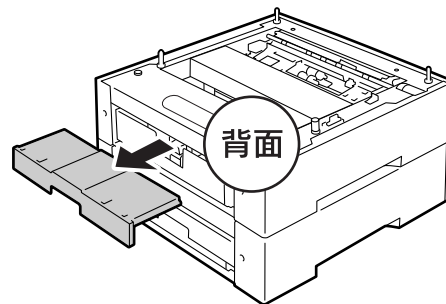
2

カセットユニットを重ねます。

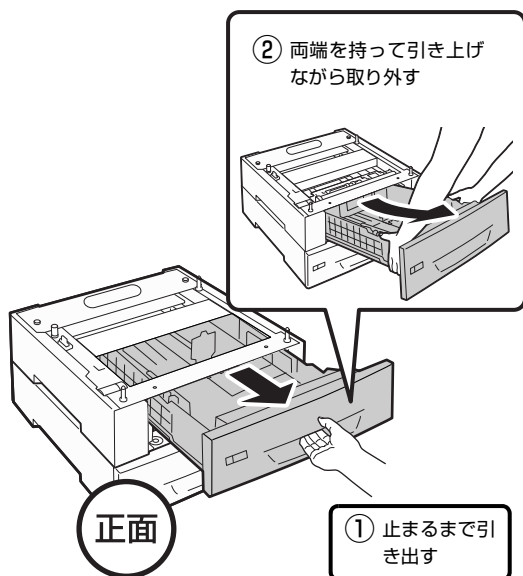


3

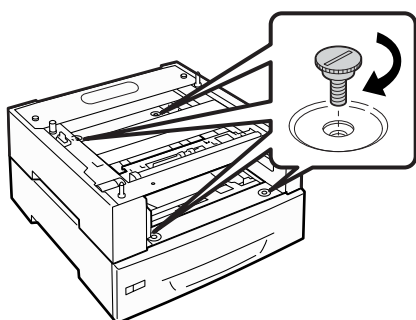
重ねたカセットユニットの背面カバーを取り外します。



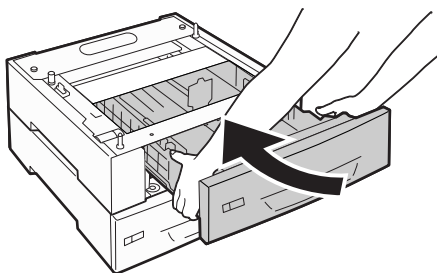
- 4 重ねたカセットユニットの用紙カセットを取り外します。



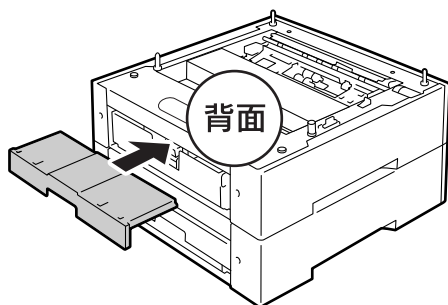
- 5 カセットユニット同士を付属のネジ (4 本) で固定します。



- 6 用紙カセットをセットします。

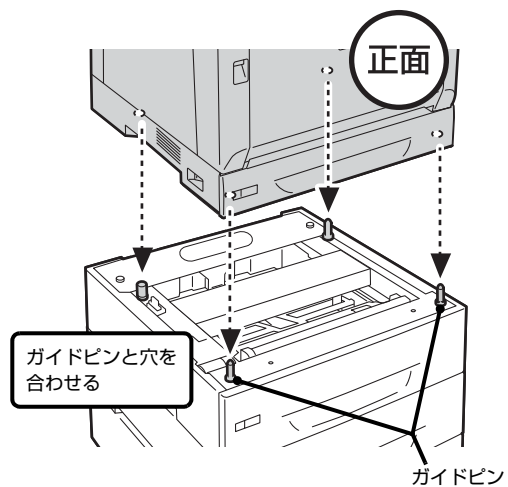


- 7 背面カバーを取り付けます。

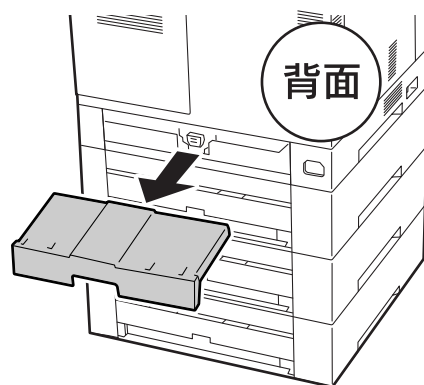


- 8 もう 1 段増設するときには、2 ~ 7 を繰り返します。

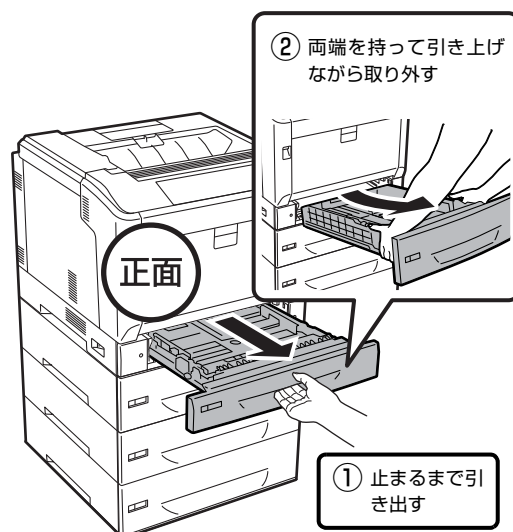
- 9 プリンターを載せます。



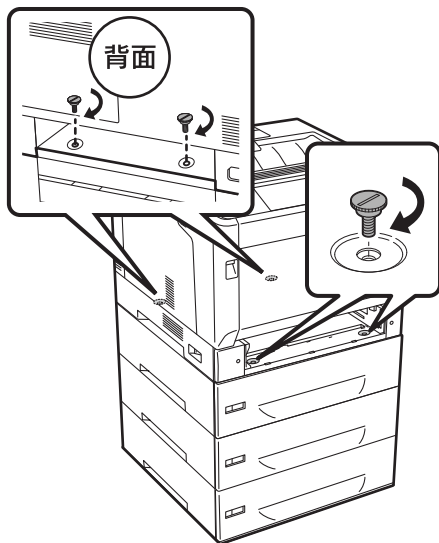
- 10 プリンターの背面カバーを取り外します。



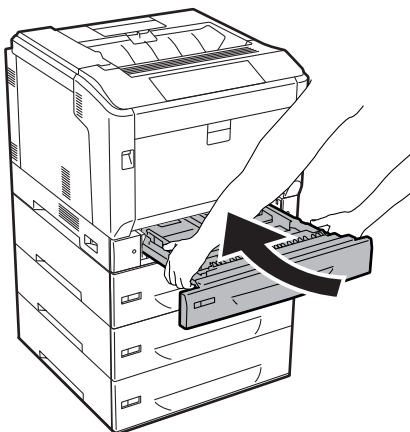
- 11 プリンターの用紙カセットを取り外します。



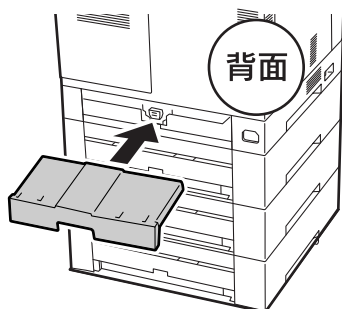
- 12 カセットユニットに付属のネジ（4 本）でプリンターを固定します。



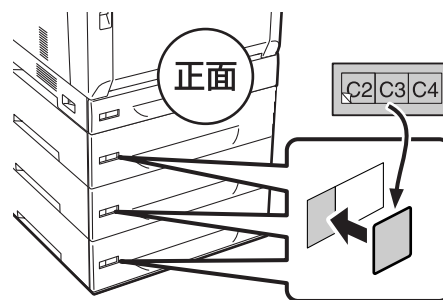
- 13 取り外した用紙カセットをセットします。



- 14 背面カバーを取り付けます。



- 15 カセット番号のラベルを貼り付けます。
上から順にカセット 2 (C2)、カセット 3 (C3)、カセット 4 (C4) です。



- 16 取り付けしたオプションをできるようにします。
取り付けただけでは使えません。セットアップ後に、プリンターの操作パネルやプリンタードライバーで認識されているか（使えるようになっているか）を確認してください。
☞ 29 ページ「給紙されない、オプションが選べない」

ROM やコンパクトフラッシュ

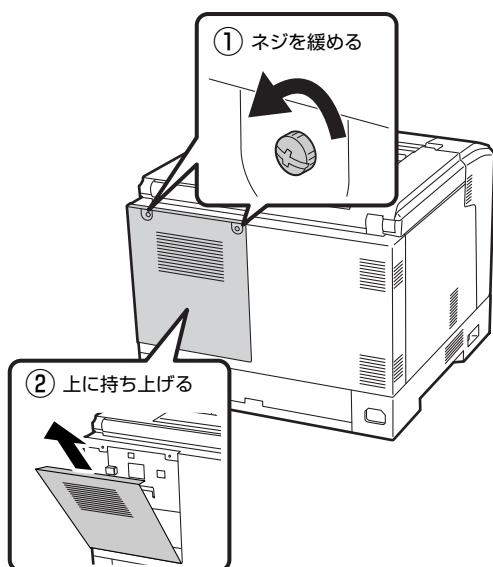
LP-S8160のみ、以下のオプションが取り付けられます。
プラスのドライバーを用意してください。

- PostScript3 ROM (型番：LPPSROM03)
- コンパクトフラッシュ (型番：LPCF16G)

!重要

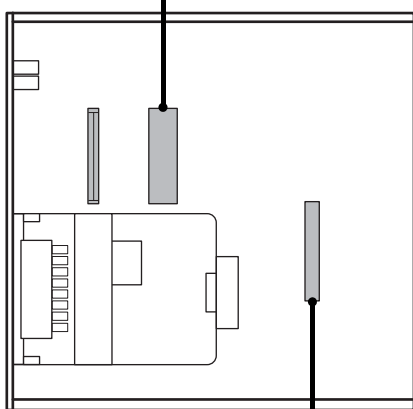
- 静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。
- これらのオプションは慎重に取り扱ってください。必要以上に力をかけると、部品を損傷するおそれがあります。

1 背面カバーを取り外します。



2 取り付ける位置を確認します。

ROM モジュール用ソケット

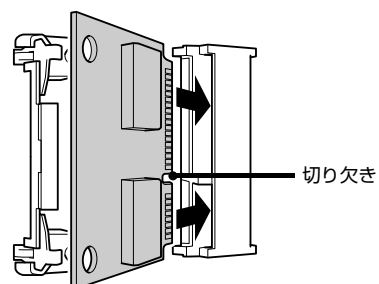


コンパクトフラッシュ用コネクタ

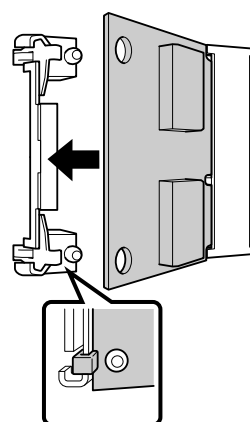
3 オプションを取り付けます。

ROM モジュール

- ① 切り欠きとソケット内部を合わせます。

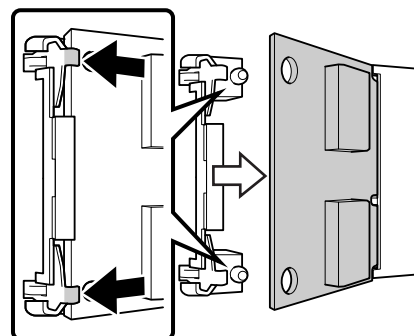


- ② 中心に力をかけ、カチッと音がするまで押し込みます。



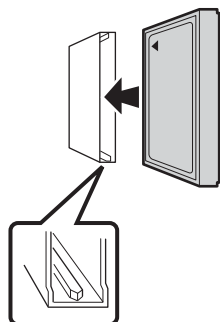
参考

取り外したいときは、両端の金具を同時に押し込んでください。



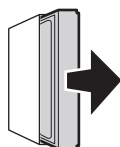
コンパクトフラッシュ

コンパクトフラッシュの表面を左にして、ソケット上下内側の凸部分に合うように差し込みます。

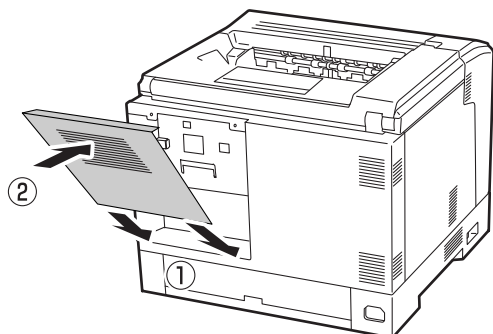


参考

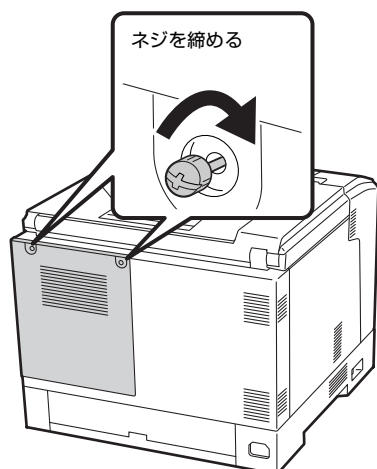
取り外したいときは、そのまま手前に引き抜いてください。



4 背面カバーを取り付けます。



5 背面カバーを固定します。



6

取り付けたオプションをできるようにします。

取り付けただけでは使えません。セットアップ後に、プリンターの操作パネルやプリンタードライバーで認識されているか（使えるようになっているか）を確認してください。

☞ 29 ページ「給紙されない、オプションが選べない」

インターフェイスカード

LP-S8160のみ、以下のオプションが取り付けられます。
プラスのドライバーを用意してください。

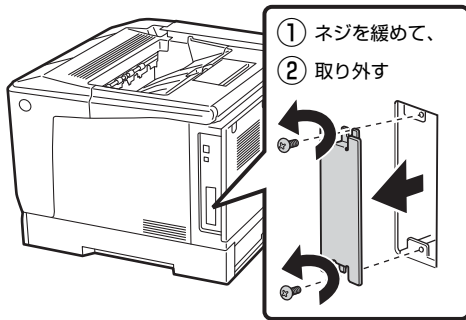
- ネットワークインターフェイスカード
(型番：PRIFNW7)
- パラレルインターフェイスカード (型番：PRIFP2)

！重要

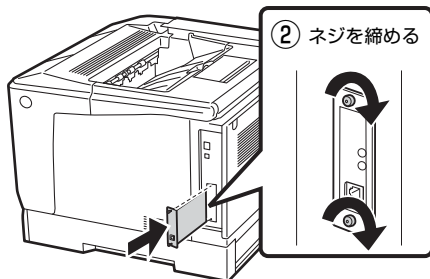
静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。
作業の前に必ず接地されている金属に手を触れるなどして、
身体に帯電している静電気を放電してください。

1 コネクターカバーを取り外します。

取り外したコネクターカバーとネジは、インターフェイスカードを取り外した際に必要になりますので、大切に保管してください。



2 インターフェイスカードを取り付けます。



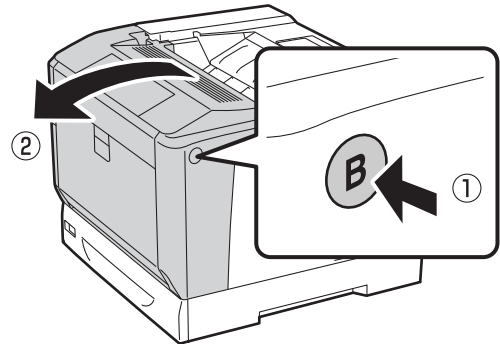
① プリンターの溝に合わせて
しっかり差し込む

インターフェイスカードの詳細は、カードに付属のマニュアルを参照してください。

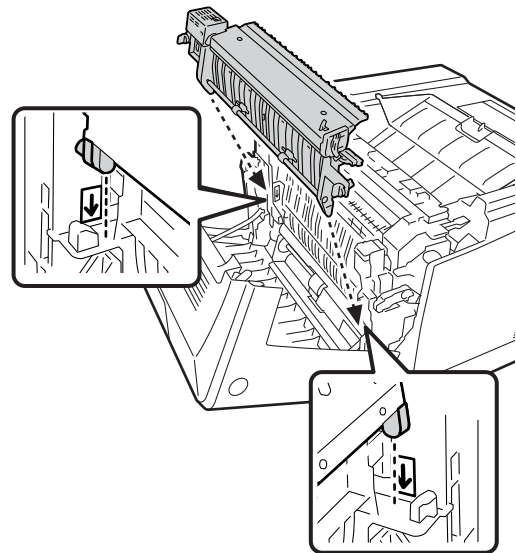
両面印刷ユニット(LP-S6160のみ)

LP-S8160 や LP-S7160 にはあらかじめ取り付けられています。

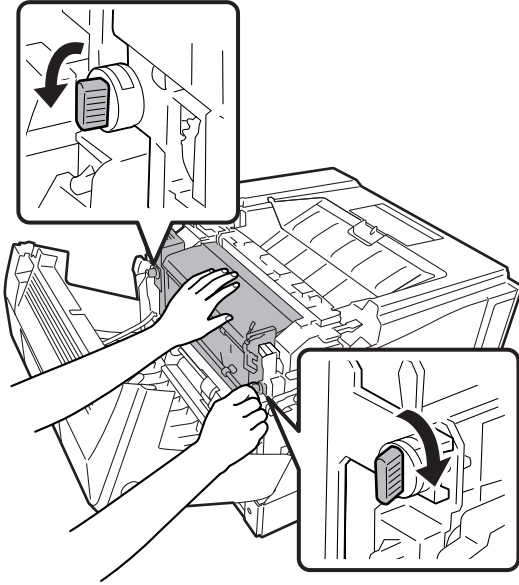
1 B ボタンを押してカバー A を開けます。



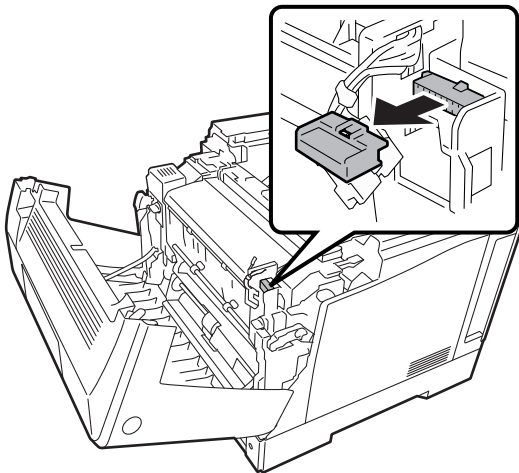
2 両面印刷ユニットをプリンターに差し込みます。



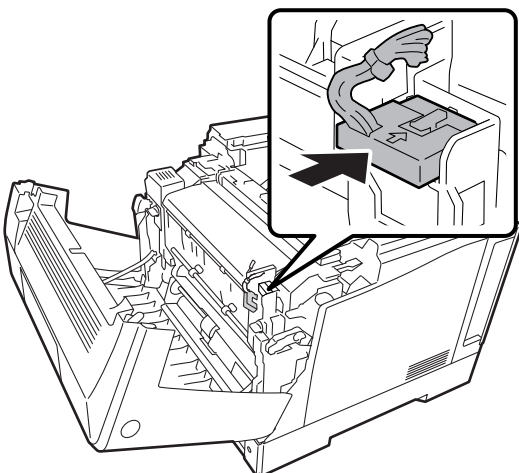
3 両面印刷ユニットを固定します。



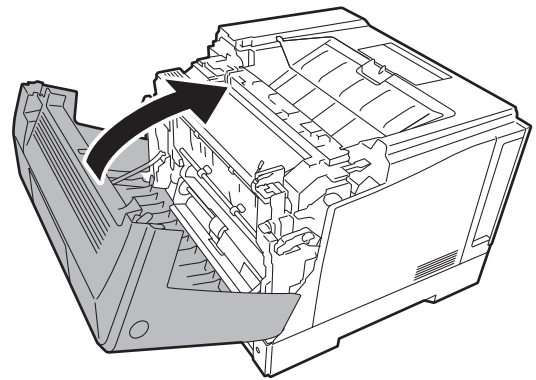
4 コネクターカバーを外します。



5 コネクターケーブルを接続します。



6 カバー A を閉めます。



7 取り付けたオプションをできるようにします。
取り付けただけでは使えません。セットアップ後に、
プリンターの操作パネルやプリンタードライバーで
認識されているか（使えるようになっているか）を確
認してください。
☞ 29 ページ「給紙されない、オプションが選べない」

6. 電源コードの取り付けと用紙のセット

電源コードの取り付け

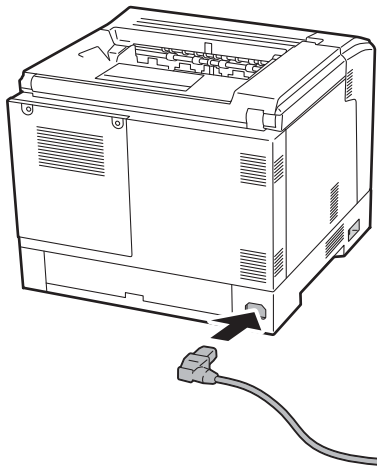
⚠ 警告

漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。

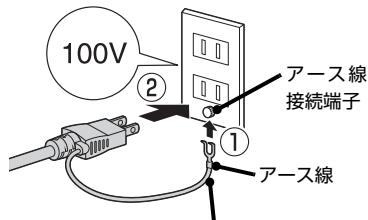
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上地中に埋めた物
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店に相談してください。

- 1** 電源スイッチがオフ（○）の位置になっていることを確認し、電源コードを接続します。



- 2** アース線を接続端子に接続し、電源プラグをコンセントに接続します。



アース線を電源コンセントに差し込まないでください。

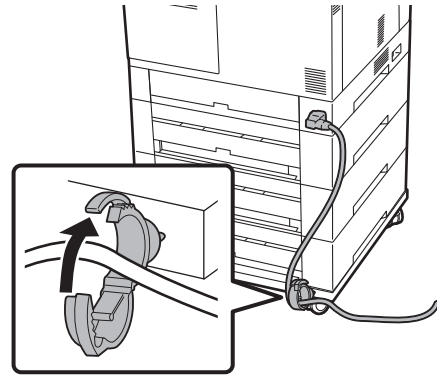
！重要

無停電電源装置には接続しないでください。

3

専用プリンター台を使用する場合は、プリンター台のフックに電源コードを通します。

電源コードがキャストに巻き付いたり抜けたりすることが防げます。



用紙のセット

ここでは、A4 サイズの用紙を標準の用紙カセットにセットする方法を説明します。

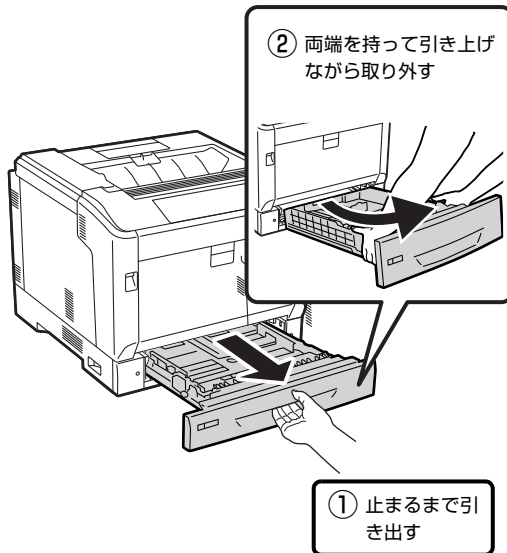
！重要

- 用紙カセットは、2段以上同時に引き出さないでください。不安定な状態になって本体が倒れるなどの可能性があります。
- 印刷中は、用紙カセットを引き出さないでください。
- 用紙カセットを勢いよく押し込まないでください。用紙がずれて、斜め送りや紙詰まりになるおそれがあります。

参考

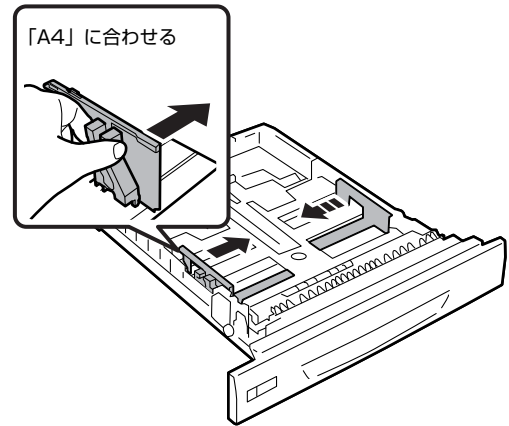
A4 サイズ以外の用紙のセット方法や、MP トレイ、オプションの用紙カセットへのセット方法は、以下を参照してください。
📖 『操作ガイド』（電子マニュアル） - 「用紙のセット」

1 用紙カセットを取り外します。

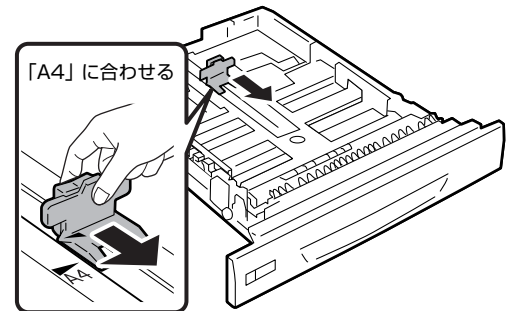


2 カセット内の「A4」の位置に用紙ガイドを移動させます。

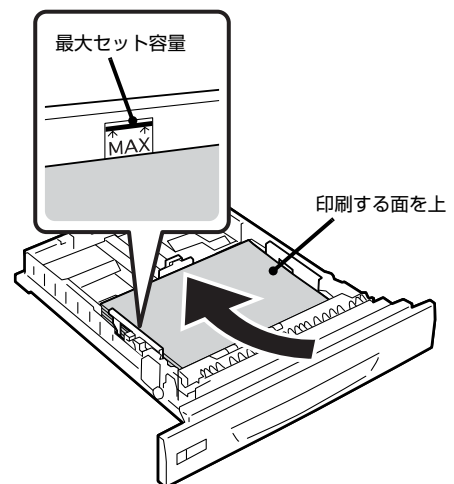
用紙ガイド A



用紙ガイド B



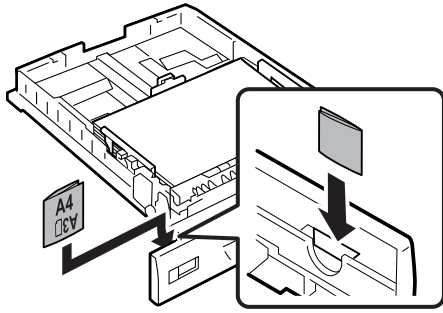
3 用紙をセットします。



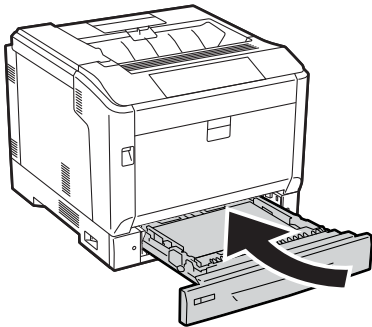
！重要

最大容量を超えて用紙をセットすると正常に給紙できないことがあります。

4 用紙サイズラベルをセットします。



5 用紙カセットをセットします。

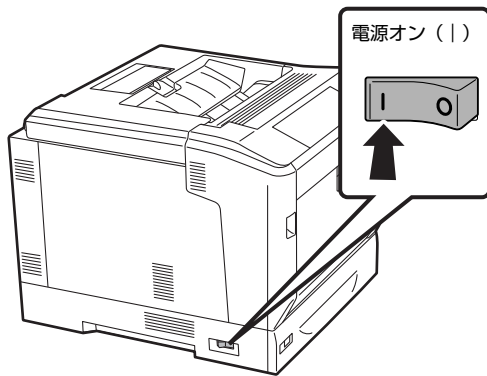


7. 日時設定と動作確認

電源を入れて日時設定します。さらに、プリンター情報シートまたはステータスシートを印刷して、正しく印刷できるか、オプションが正しく取り付けられているかを確認します。動作確認は標準の用紙カセットに A4 サイズの用紙をセットして実施してください。

電源のオンと日時設定

1 電源を入れます。



2 操作パネルに【日付時刻設定】画面が表示されたら、【西暦】、【月】、【日】、【時】、【分】を設定します。

- ① 【▲】 【▼】 ボタンで数値の変更
- ② 【▶】 ボタンで右に移動
- ③ 【OK】 ボタンで決定

動作確認

操作パネルに「印刷できます」以外のメッセージが表示されているときは、メッセージに従って対応してください。【節電】ランプが点灯しているときは【節電】ボタンを押してください。

パスワードの設定

プリンターに管理者パスワードが設定できます。設定すると、プリンターの設定値を変更する際にパスワードが要求されます。

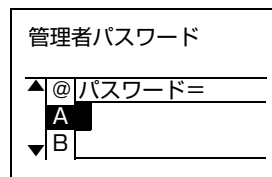
参考

このパスワードは、EpsonNet Config (Windows/Mac OS 用ソフトウェア) とプリンターの操作パネルの設定で共通使用します。パスワードは十分注意して管理してください。

1 操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示させます。

2 【▲】 【▼】 ボタンで【管理者設定】を選択し、【OK】ボタンで決定します。

3 【管理者パスワード】で【OK】ボタンを押します。

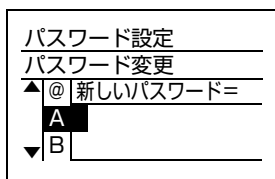


4 【パスワード設定】で【OK】ボタンを押します。

5 【パスワード変更】で【OK】ボタンを押します。

6 【古いパスワード=】と表示されたら何も入力せずに【OK】ボタンを押します。

7 【新しいパスワード=】で、設定するパスワードを入力します。



- ① 【▲】 【▼】 ボタンで文字選択（入力）
- ② 【▶】 ボタンで文字を確定し、2文字目を入力
 - 20文字まで入力可
 - 入力可能な文字は以下
半角英数（大文字と小文字の区別あり）、スペース、!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[^_`{|}~
- ③ 最後に【OK】ボタンで決定（20文字入力した場合のみ【▶】ボタンで決定）

確定された文字は「*」と表示されます。

【◀】ボタンを押すと、最終の文字が削除されます。

8 【新パスワード確認=】と表示されたら、7の手順でもう一度パスワードを入力します。

パスワードが設定されると「パスワードを変更しました」と表示されます。続いて、必要に応じて制限の範囲を設定します。

9 【▲】 【▼】 ボタンで【制限範囲 = 制限しない】を選択して【OK】ボタンで決定します。

10 【▲】 【▼】 ボタンで制限範囲を選択し、【OK】ボタンで決定します。

制限しない	パスワードを要求しない（初期値）
I/F 項目のみ	インターフェイスの設定変更時にパスワードを要求
選択項目のみ	設定値が変更できる項目のみ、パスワードを要求
全項目	操作パネルの全項目でパスワードを要求

11 【パスワード設定】画面に戻ったら、【◀】ボタンを押します。

ステータスシートの印刷

1 操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示させます。

2 【▲】 【▼】 ボタンで【システム情報】を選択し、【OK】ボタンで決定します。

3 【▲】 【▼】 ボタンで【レポート印刷】を選択し、【OK】ボタンで決定します。

4 【プリンター情報シート印刷】が選択されていることを確認して【OK】ボタンを押します。
プリンター情報シートが印刷されます。
取り付けたオプションが認識されていることを確認してください。

プリンター情報シートの印刷例



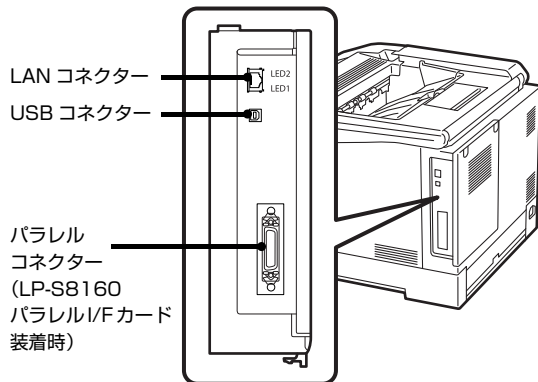
5 電源を切ります。

8. コンピューターとの接続とインストール

プリンターとコンピューターをケーブルで接続し、プリンタードライバーなどのソフトウェアをインストールします。
本書に記載されていないOSについては、エプソンのホームページ (<http://www.epson.jp/>) でご確認ください。

1 プリンターの電源が切れていることを確認します。

2 ケーブルの接続場所を確認します。
接続形態によって接続場所が異なります。

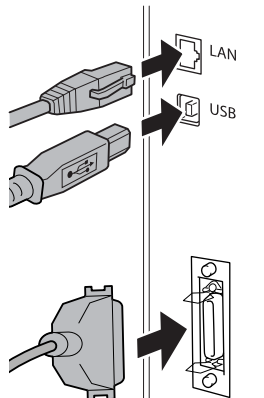


3 ケーブルを接続します。
誤接続や逆差しに注意してください。

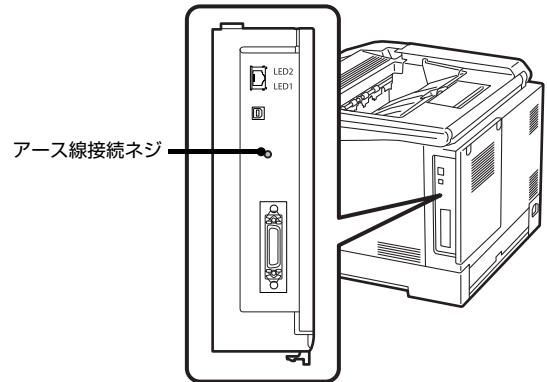
• LAN(ネットワーク)接続
4に進みます。

• USB 接続
5に進みます。

• パラレル接続
4に進みます。



4 LAN接続の場合はプリンターの電源を入れます。
パラレル接続の場合は、ケーブルに付いているアース線をプリンター本体のネジに接続します。
USB/ パラレル接続の場合はプリンターの電源を入れないでください。



5 ケーブルの一方を、LAN 接続の場合はハブに、
USB/ パラレル接続の場合はコンピューターに
接続します。

6 プリンタードライバーなどをインストールします。
Web ブラウザーを起動し、以下にアクセスして作業
を進めてください。
<http://epson.sn/>

参考

- Windows の場合は、付属のソフトウェアディスクからインストールできます。表示された以下の画面で [必須ソフトウェアのインストールと接続設定] をクリックして作業を進めてください。



- 自動再生画面が表示されたら [InstallNavi.exe の実行] をクリックし、ユーザーアカウント制御画面では作業を続行してください。
- [電子マニュアルとソフトウェアのご案内] ボタンをクリックすると、PDF (電子) マニュアルがご覧いただけます。

最新の情報やマニュアルはエプソンのホームページ (<http://www.epson.jp/support/>) で確認できます。

セットアップできないときは

セットアップに関するトラブルとその対処方法は以下の通りです。

参考

その他のトラブルは以下を参照してください。
☞『操作ガイド』（電子マニュアル）－「困ったときは」
ネットワーク設定に関する情報は、以下を参照してください。
☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）
また、よくあるお問い合わせをエプソンのホームページ (<http://www.epson.jp/faq/>) に掲載してありますので参考にしてください。

電源が入らない(印刷可ランプが点灯しない)

- ☑ **電源コードが抜けていたり、緩んでいませんか？**
電源コードを、プリンターとコンセントに確実に差し込んでください。
- ☑ **正しい電圧のコンセントに接続していますか？**
コンセントの電圧を確認してください。コンピューターにあるコンセントには接続しないでください。

ブレーカーが動作する

- ☑ **ブレーカーの定格は十分ですか？**
ブレーカーの定格が十分であるにもかかわらずブレーカーが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。または本機用に専用配線を用意してください。

周辺の電化製品に異常が発生する

- ☑ **電源容量は十分ですか？**
電源容量が十分に確保されていない環境においては、本機と同一の電源ラインに接続されている蛍光灯にチラつきが発生したり、コンピューターがリセットするなどの現象が発生する可能性があります。蛍光灯、コンピューターなどが接続されている電源ラインと本機を分離してください(分電盤から独立して引かれた電源ラインへの接続をお勧めします)。

ソフトウェアディスクをセットしても、セットアップ画面が表示されない(Windows のみ)

- ☑ **DVD/CD ドライブの Autorun 機能が働いていない可能性があります。**
DVD/CD ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。セットアップ画面が表示されます。

- ☑ **ローカル(直接)接続で、プリンターの電源を入れたままケーブルを接続していませんか？**

Windowsの[新しいハードウェアの検出ウィザード]画面が表示されたら、[キャンセル] ボタンをクリックし、プリンターの電源を切ってからソフトウェアディスクをセットし直してください。
セットアップ画面が自動的に表示されないときは、DVD/CD ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。




プリンター情報シートまたはステータスシートが印刷できない

- ☑ **電源が入っていますか？**
【節電】 ボタンのランプが消灯していますか？
操作パネルに【印刷できます】と表示されていますか？
【節電】 ボタンのランプが点灯している場合は、【節電】 ボタンを押してください。
操作パネルに【印刷できます】以外のメッセージが表示されているときは、メッセージに従って対処してください。
☞『操作ガイド』（電子マニュアル）－「困ったときは」－「操作パネルとヘルプの見方」


プリンタードライバーがインストールできない(USB 接続)

- ☑ **お使いのコンピューターは本機で対応しているOSがプレインストールされたコンピューター、または Windows XP 以前の OS がプレインストールされていて Windows XP/Windows Server 2003 にアップグレードしたコンピューターですか？**
USB ポートの動作が保証されていないコンピューターは正常に印刷できません。お使いのコンピューターの詳細は、コンピューターメーカーへご確認ください。
- ☑ **Mac OS X をご使用のときに、UNIX ファイルシステム (UFS) 形式でフォーマットしたドライブにソフトウェアをインストールしていませんか？**
Mac OS X をインストールする際に、ドライブのフォーマット形式を Mac OS 拡張 (HFS+) 形式または UNIX ファイルシステム (UFS) 形式から選択することができます。本機用のプリンタードライバーは、UFS 形式でフォーマットしたドライブでは使うことができませんので、HFS+ 形式でフォーマットしたドライブにインストールしてください。




ネットワークインターフェイスの設定ができない

-  **LANケーブルが確実に差し込まれていますか？**
本機のコネクターとコンピューターまたはハブ側のコネクターにLANケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えて確認してください。
-  **ハブは正常に動作していますか？**
ハブのポートのリンクランプが点灯/点滅しているか確認してください。リンクランプが消灯している場合は、他のポートに接続して、リンクランプが点灯/点滅するかどうか確認してください。
他のポートに接続してもリンクランプが消灯している場合は、ハブの電源が入っていないかハブが故障している可能性があります。ネットワーク管理者に確認してください。
-  **IPアドレスは正しいですか？**
TCP/IP で使用しているときは、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されているか確認してください。
IP アドレスは、プリンター情報シートまたは操作パネルの [ネットワーク設定] で確認できます。
☞ 『操作ガイド』(電子マニュアル) - 「メンテナンス」 - 「プリンターの状態・設定の確認」

操作パネルにエラーが表示されている

-  **ヘルプボタンが表示されているときは、操作パネルのヘルプをご覧ください。**
エラーメッセージの意味と対処方法は『操作ガイド』(電子マニュアル) に掲載されています。PDF (電子) マニュアルの見方は以下を参照してください。
☞ 表紙「本書以外のマニュアルのご案内」

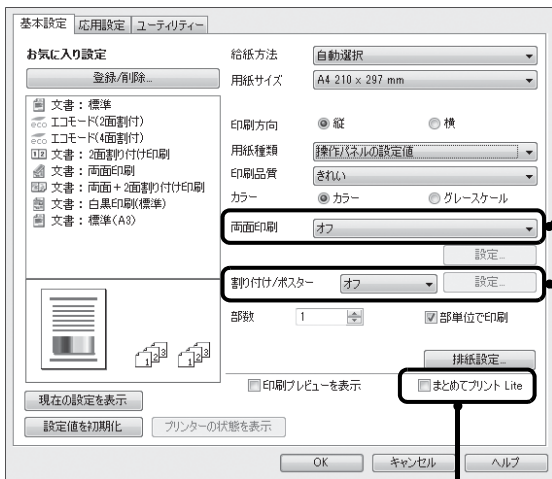
給紙されない、オプションが選べない

-  **プリンタードライバーで、給紙装置を選択していますか？**
プリンタードライバーで給紙装置を正しく選択しているか確認してください。オプションのカセットが選べない場合は、次項を参照してください。
-  **オプションを、プリンタードライバーで認識させましたか？**
Windows :
① [スタート] - [デバイスとプリンター] をクリック
② 本機のアイコンを右クリックして [プリンターのプロパティ] を選択
③ [オプション設定] 画面の [プリンター情報] で [プリンターから取得] をチェック
④ [取得] をクリック
オプションの情報が認識されます。
Mac OS X : [プリントとファクス] または [プリントとスキャン] でプリンターを追加し直します。追加し直したときに自動的に認識されます。
[オプションとサプライ] で [ドライバ] タブをクリックすると、オプションの装着状態の確認と変更ができます。
-  **用紙ガイドの位置は適切ですか？**
用紙ガイドは必ず用紙端に合わせてください。合っていないと、紙詰まりなどの原因にもなります。

こんなことができます

プリンター本体には、節電する時間帯を設定したり、プリンターの稼働実績に基づいて自動的に設定された節電移行時間で節電モードにしたりする機能などが搭載されています。また、プリンタードライバーの機能を利用すると以下のような印刷ができます。

これらの機能の詳細は『操作ガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。電子マニュアルの見方は本書の表紙に掲載してあります。



両面印刷

製本印刷

割り付け印刷

2ページまたは4ページを1ページに割り付けます。

ポスター印刷

出力紙を貼り合わせて大きな印刷物が作れます。

割り付け印刷 + 両面印刷

異なるデータを1つにまとめて印刷

異なるアプリケーションソフトで作成した複数のドキュメントを1回にまとめて印刷できます。

視認性を向上させて印刷

色付きの文字やグラフ、イメージデータを修飾（下線や背景を付けるなど）して視認性を高めた印刷ができます（カラーユニバーサルプリント）。



透かし印刷

不正コピーの抑制などに役立ちます。

スタンプマーク

テキストやビットマップのオリジナルのマークも登録できます。

パスワード印刷

プリンタードライバーでパスワードを設定し、プリンターの操作パネルで設定したパスワードを入力すると印刷されます。

ヘッダー / フッター

ユーザー名、日付、時刻、部番号などが設定できます。

●エプソンのホームページ <http://www.epson.jp>

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひ活用ください。
FAQ <http://www.epson.jp/faq/>

●製品に関するご質問・ご相談先(エプソンインフォメーションセンター)

製品に関するご質問・相談に電話でお答えします。

050-3155-8055

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8580へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 *一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-0863 松本市白坂2-4-14 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 ウイングビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

*修理について詳しくは、エプソンのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660 ・鳥取修理センター:0857-77-2202

●引取修理サービス(ドアtoドアサービス)に関するお問い合わせ先

*一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

050-3155-7150

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

*引取修理サービス(ドアtoドアサービス)について詳しくは、エプソンのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(エプソンサービスコールセンター)

050-3155-8600

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●製品の最新ご購入に関するご質問・ご相談先(購入ガイドインフォメーション)

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認いただけます。 <http://www.epson.jp/showroom/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
 【開館時間】月曜日～金曜日 10:00～17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(ホームページアドレス <http://www.epson.jp/shop/> または通話料無料 0120-545-101)でお買い求めください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。

上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
 最新の情報はエプソンのホームページ(<http://www.epson.jp/support/>)にてご確認ください。

エプソン販売株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス(LP) 2015.05



412957600